

2024後期

特別支援教育って なんだ？

～個別の教育的ニーズと個別最適化～

#特別支援教育が特別じゃなくなる日を



自己紹介

大阪府立西浦支援学校 中学部
樋井一宏（ひのい かずひろ）

教員歴：14年目

免許：中・高国語、特別支援学校

趣味：旅行・アウトドア・デニム

特別支援教育が特別じゃなくなる日を



今日の予定

- 1、特別支援教育って??
- 2、授業までの流れ
- 3、個別最適化（実践例）
- 4、まとめ # 特別支援教育が特別じゃなくなる日を

今日の予定

このスライド
覚えといて！！

1、特別支援教育って??

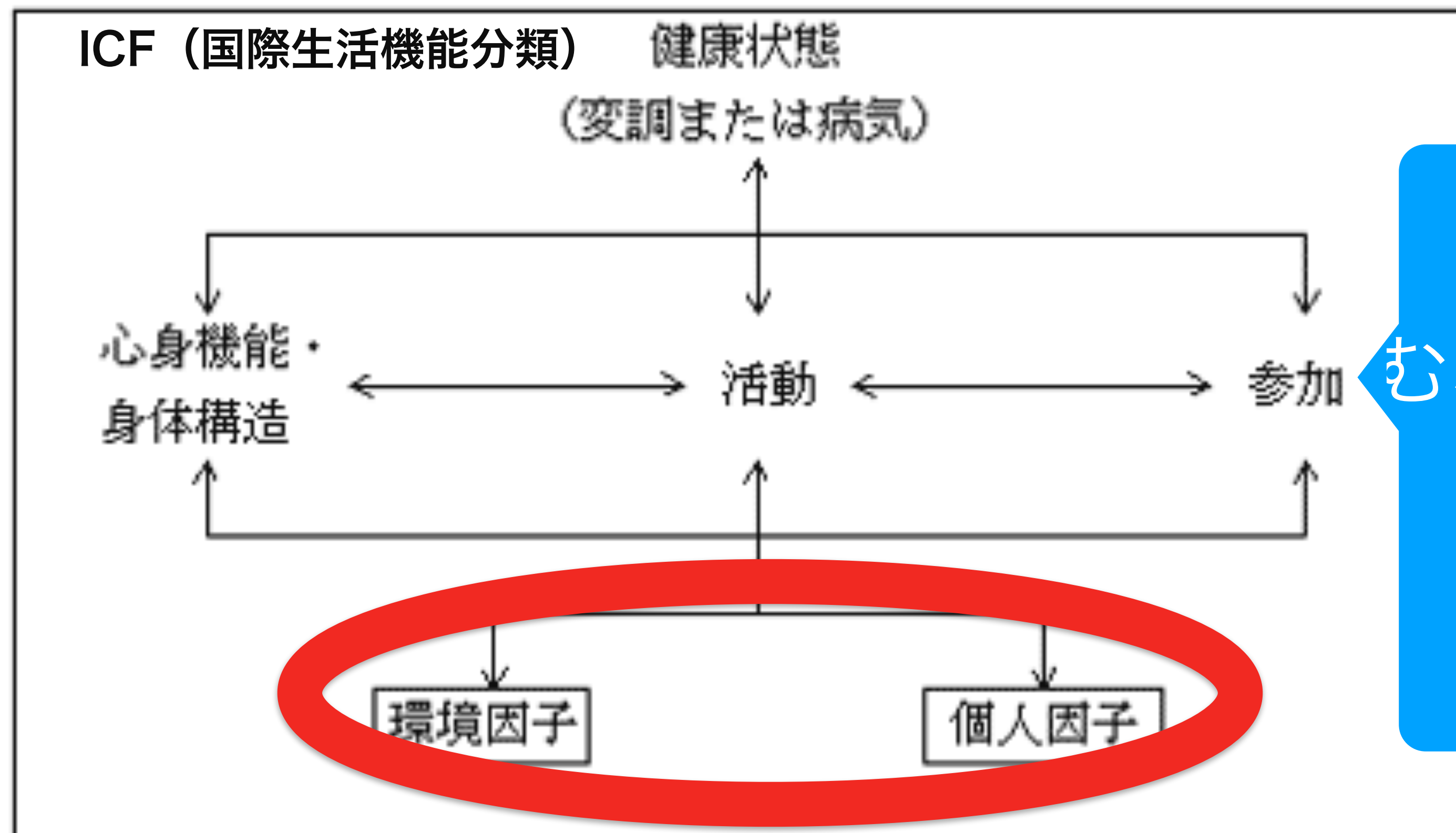
2、授業までの流れ

3、個別最適化（実践例）

4、まとめ # 特別支援教育が特別じゃなくなる日を

僕の立ち位置

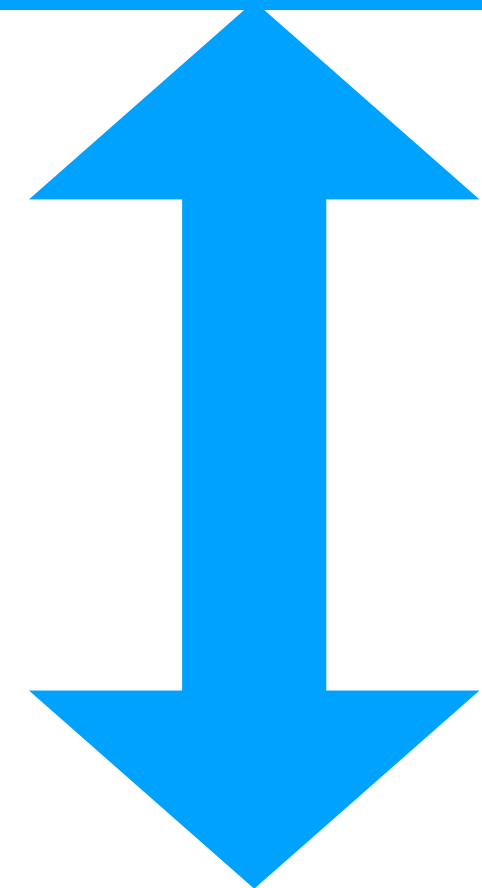
障害ってなんだ？



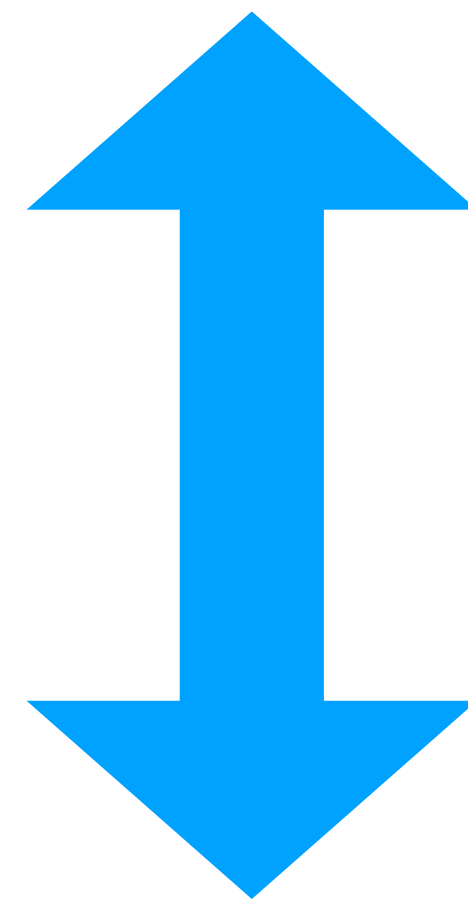
む、難しい・・・。
何のことやら

超個人的解釈

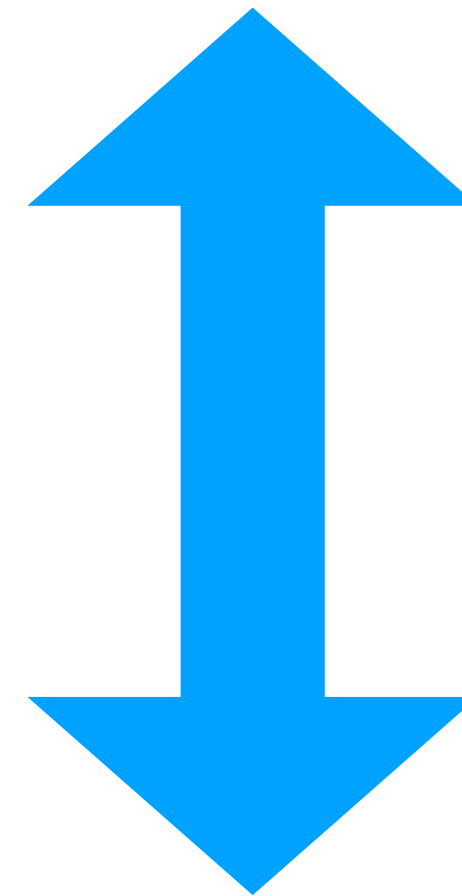
社会のデザイン→（マジョリティ）



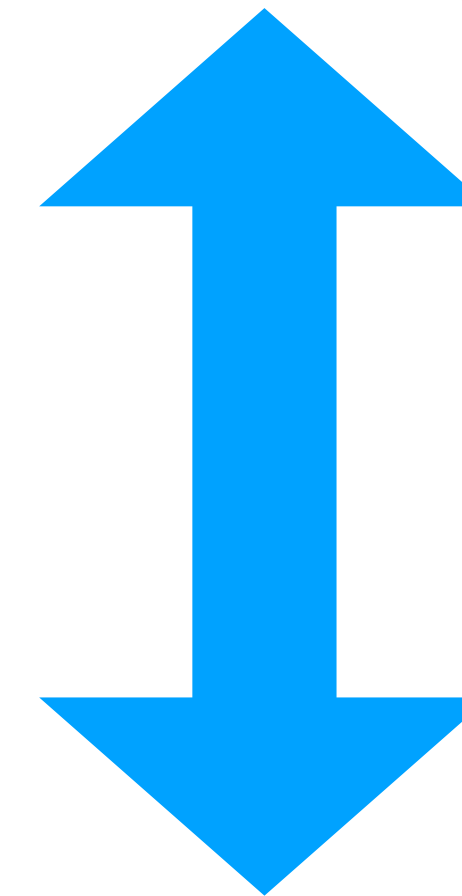
個人の力



個人の力



個人の力

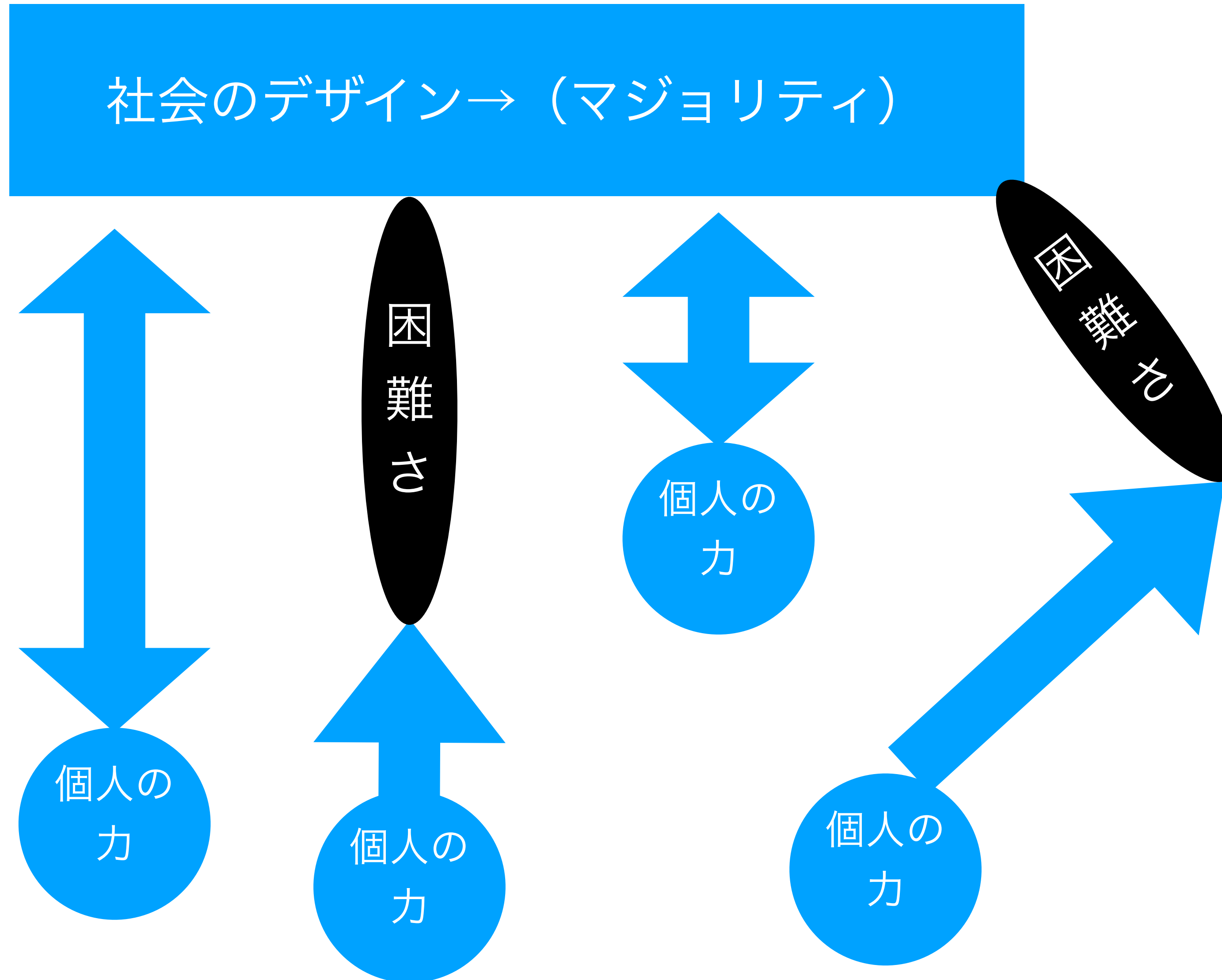


個人の力

多くの人が
使いやすい



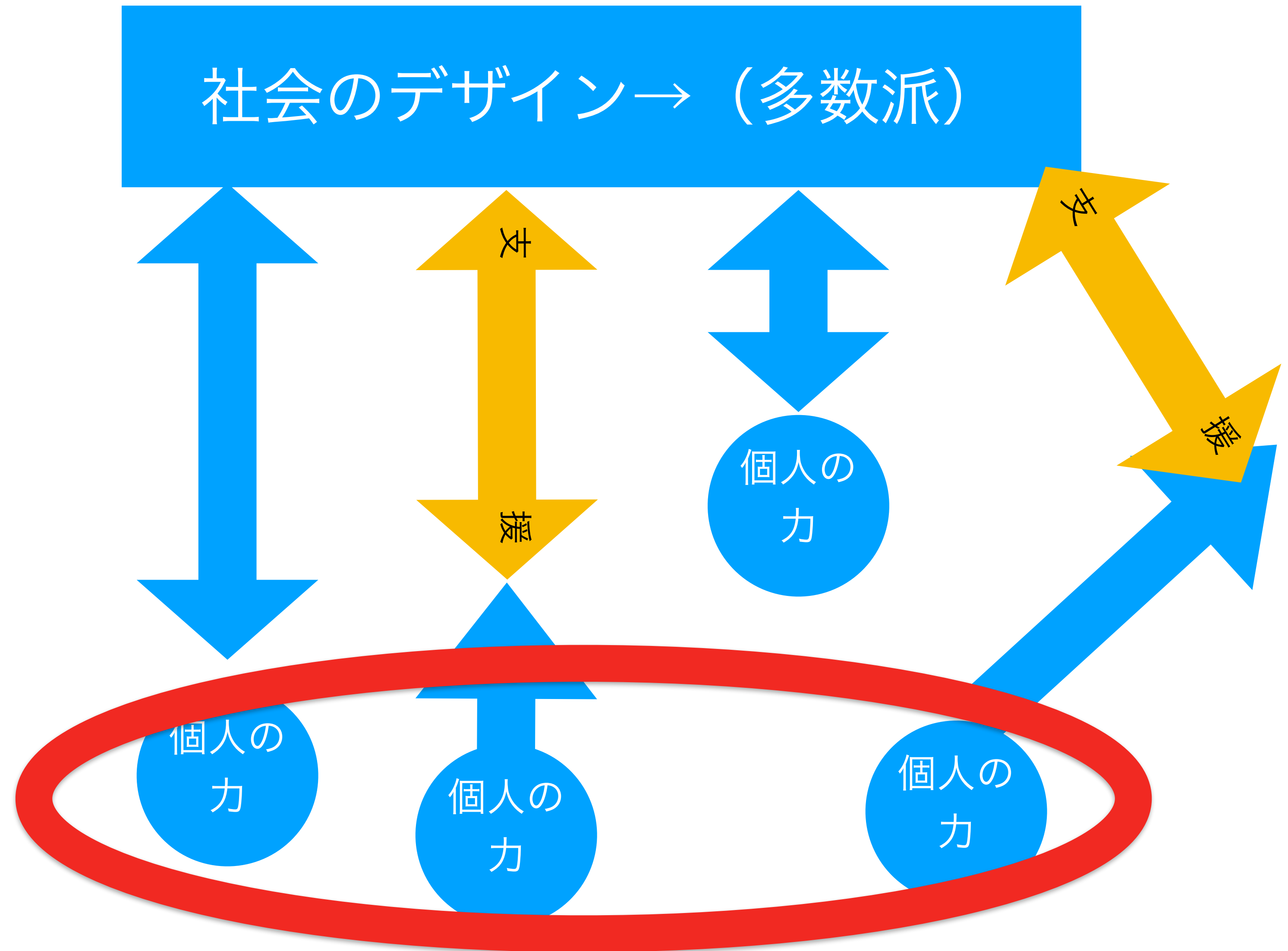
障害が生じるところ



じゃあどうするか？

個人の
気合いと努力ではない

社会のデザインに
アクセスできる方法を
考える



障が^いい？

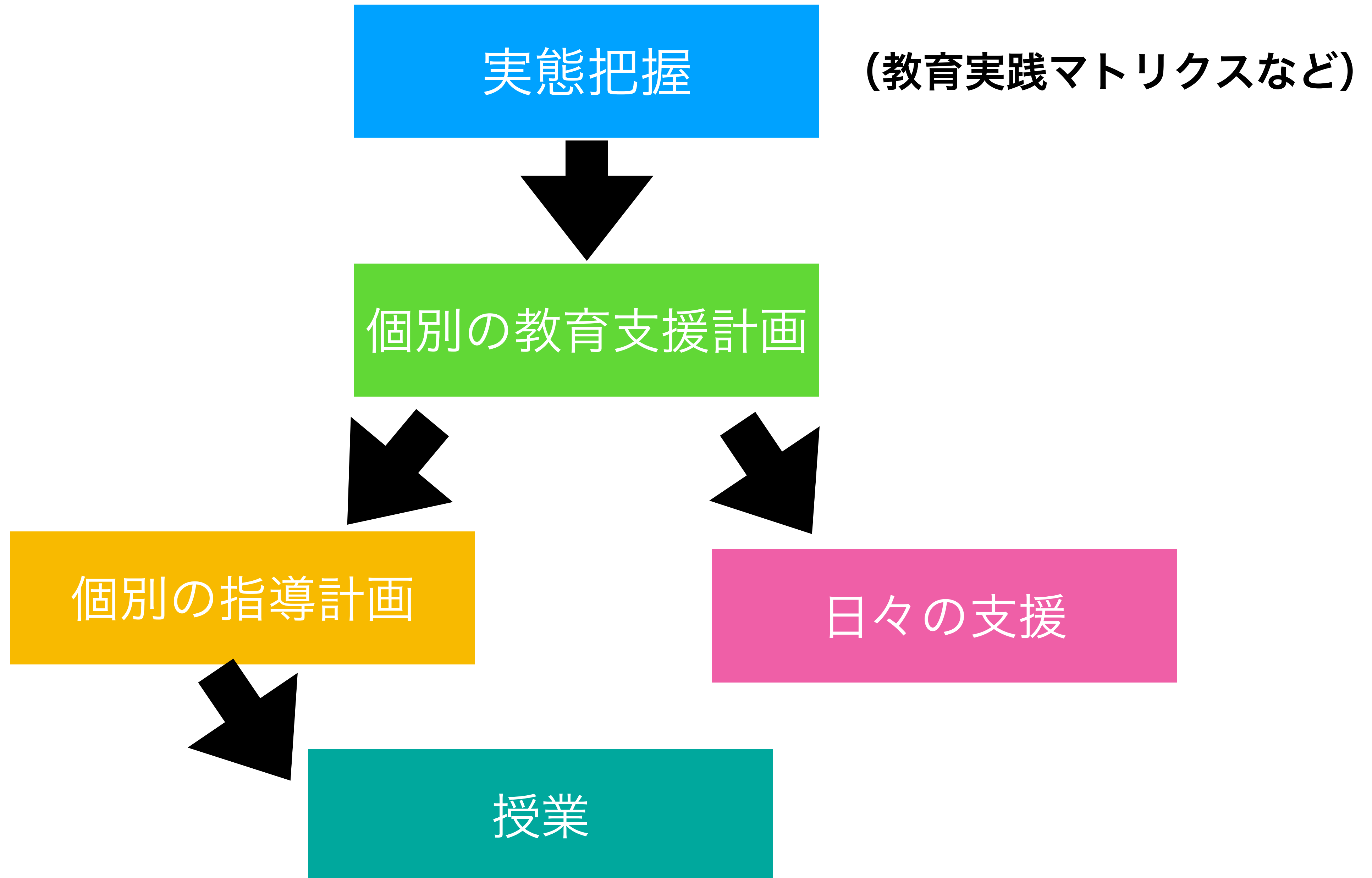
障害？

言葉狩りではなく、自分の意思表示

今日の予定

- 1、特別支援教育って??
- 2、授業までの流れ
- 3、個別最適化（実践例）
- 4、まとめ # 特別支援教育が特別じゃなくなる日を

授業までの流れ



実態把握

最も重要

子どもたちの様子をよく観察する

何を？

得意なことは？＊仮説

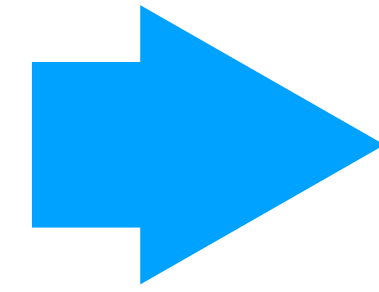
苦手なことは？＊仮説

どんな支援が必要？＊仮説

何をどう考えるか。

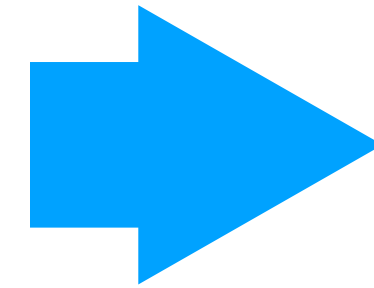
1、何に困っているか

いつ？どんな時？



どうなって欲しいか

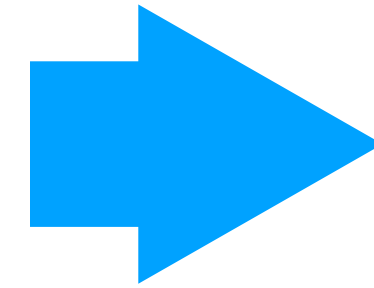
2、なぜか？



原因は

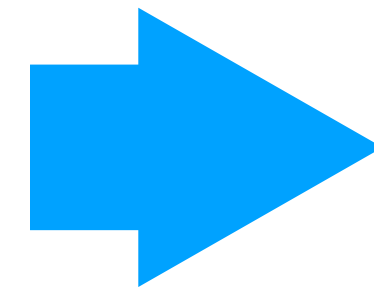
何が隠れてる？【仮説】

3、どうすれば良いか？



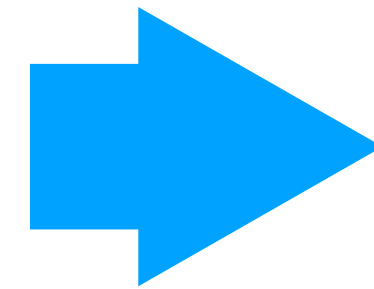
支援の方法【立案】

4、やってみよう！！



実践

5、どうだった？



日々の生活の中で確認
【評価】＊継続または2に戻る

教育実践マトリクスについて



本校独自の
「実態把握」
「課題設定ツール」
「学びの記録」

小中高12年間で
身につけてほしい力の
「地図」

16の力（横軸）×12段階（縦軸）

学年ごとに塗る色を変えて、
変化を記録

必ずしも上のマスの目標を
狙うものではない

地図なので1丁目と2丁目に
優劣はない

横に伸びるのも、深まるのも
成長

に気をつける できる 体力づくりの 動（ランニン することがで	跳び箱、鉄棒、なわと び等）に合わせた活動 をすることができる □様々な模倣（体操、 ダンス等）をすること ができる	できる □あきらめずに最後まで がんばることができる	する □経験したものや事柄 を自分なりの表現で描 く	ルールやマナーを守っ て活動することができる □特定の教員（担任 等）がいなくてもルー ルを守って活動するこ とができる	使うこと □動植物 やさしい とがで
促して、食事 や食べ方に気 ことができる 足して、体力 ための運動 ング等）をす でできる	□簡単なルールのある ゲームができる □言葉かけ等で複数の 動き（走って跳ぶ等） を連続することができる □簡単な動作の模倣が できる	□周囲の応援等で、苦 手なことも頑張って活 動することができる □苦手なことにも短時 間向き合うことができ る	□音楽に合わせて手を たたいたり、踊ったり することを楽しむ □好きなものを自分な りの表現（みたと等） で描く	□学部や学校などの ルール（廊下を走らな い等）を守ることがで きる □小集団の中で活動す ることができる	□動植 ことを □野菜 みにし
いなく食べる できる 生活リズムを	□言葉かけや合図で基 本的な運動（歩く、走 る等）をすることがで きる □教員の動きを見て、 自分で体を動かす（体 操等）ことができる	□親しい友だち（クラ スメイト等）の中で落 ち着いて活動すること ができる □複数の教員（担任以 外等）と意思疎通がで きる	□自分で音を出した り、音楽（曲）にあわ せて体を揺らしたりし て楽しむ □絵を描くことに興味 をもつ	□学級や学年などの ルール（友だちを待 つ、集団に自分を合わ せる等）を守ることが できる □友だちの中で一緒に 活動することができる	□動 （成 づく □季 化す
のも自分で ができる から食事を	□立った状態で衣服や 靴の着脱等を一人で 行う □階段や坂道の上下 りを一人でを行う	□特定の教員（担任 等）と一緒に活動する ことができる □特定の教員（担任 等）と意思疎通がで きる	□好きな植物や動物が ある □好きな音楽や絵等が ある	□日常生活に必要な決 まり（手洗いをする・ 歯みがきをする等）を 守ることができる □時間（始まりの時 間、終わりの時間等） を意識することができる	□い こ □を
して、体 を涼しく ば水分摂 のも少し とができ	□衣服や靴の着脱等を 少しの支援で行う □階段や坂道の上下 りを少しの支援で行う	□好きな音楽や遊具を 使った活動を、落ちて いることができる □自分が安心できる環 境（場所）で、しっか り活動することができる	□身近な植物や動物へ の興味を深める □絵（絵本）や音楽 （音）の楽しさ、おも しろさを感じる	□特定の教員（担任 等）との簡単な約束 （～ができたなら～をし よう等）を守ることが できる	□身 物の □教 りの物
し、夜に つける て、あそ	□衣服や靴の着脱等を 教員と一緒に □階段や坂道の上下 りを教員と一緒に	□好きな音楽やお気 にの遊具がある □好きな遊びがある □落ち着ける環境 （クールダウンできる 方法）がある	□教員の働きかけで身 近な植物や動物に興味 をもつ □絵（絵本）や音（音 楽）に興味をもつ	□教員と一緒に順番を 守ることができる □見通しがもてれば教 員と一緒に一定時間待 つことができる	□身 物の □教 りの物
のを中心 振ることが ができる しっかり活動 にしっかり眠	□ものを指でつまむこ とができる（つかむ） とができる（つかむ） とができる（つかむ）	□特定の音楽に反応 （微笑み、振り向きな ど）する □特定のもの（おも ちゃやえほん）に積極 的に触れあう	□身近な植物や動物に ふれる □絵（絵本）や音楽 （音）にふれる	□気持ちが安定してい るときには、教員と一 緒に一定時間待つこと ができる □サインで待つが分か り、行動を一時とめる ことができる □着席できる	□身の回 物にふれ

個別の教育支援計画

本人、保護者の願い

どんな未来をめざすか？

望む未来（3年後）から逆算する
今年どこをめざすか

そのために必要な支援は？

3年後（長期）→1年後（中期）→半年後（短期）
目標

大阪府立西浦支援学校		〈様式A-4-1〉	
個別の教育支援計画 目標設定			
児童生徒名	0	担任	0
学部学年・組	0	0年	0組
本人・保護者の希望や願い	卒業時・3年後につけたい力		
	教育実践マトリクス該当する項目		
自立活動の観点を含む記述	年間目標		
	対照するマトリクスの内容		
自立活動の観点を含む記述	支援の手立て及び配慮事項	支援の手立て	配慮事項

大阪府立西浦支援学校 〈様式A-4-2〉

個別の教育支援計画 目標設定

児童生徒名		0		担任		0	
学部学年・組		0		0年0組			
本人・保護者の希望や願い	卒業時・3年後につけたい力	適切なコミュニケーションを取ることができる					
	教育実践マトリクス						
	該当する項目						
年間目標		自分の経験したことを伝えることができる					
対応するマトリクスの内容							
自立活動の観点を含む配慮	支援の手立て及び配慮事項	<div style="text-align: center;"> 3年後→1年後→半年後 </div>					
		<div style="text-align: center;"> 目標 タブレットまたは紙による筆談でコミュニケーションをとる 発表は自席で行うなど発表の環境に配慮する。 発表場面では筆談を活用する </div>					

前期目標	担任に筆談やジェスチャーで質問や気持ちを伝えることができる	
前期の様子と課題		
後期目標	筆談等で伝えることができる相手を増やす	
後期の様子と課題		
次年度年間目標		
対応するマトリクスの内容		

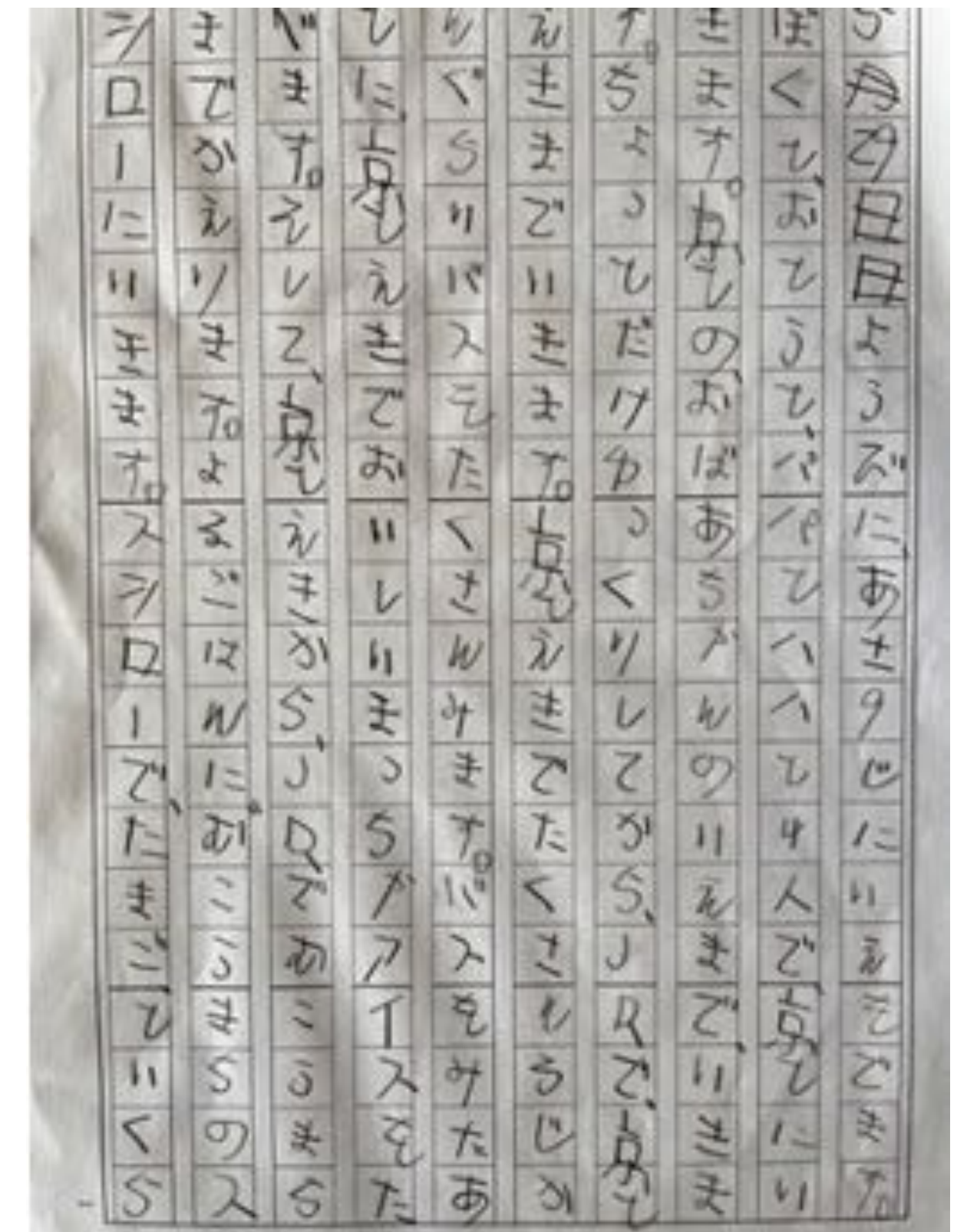
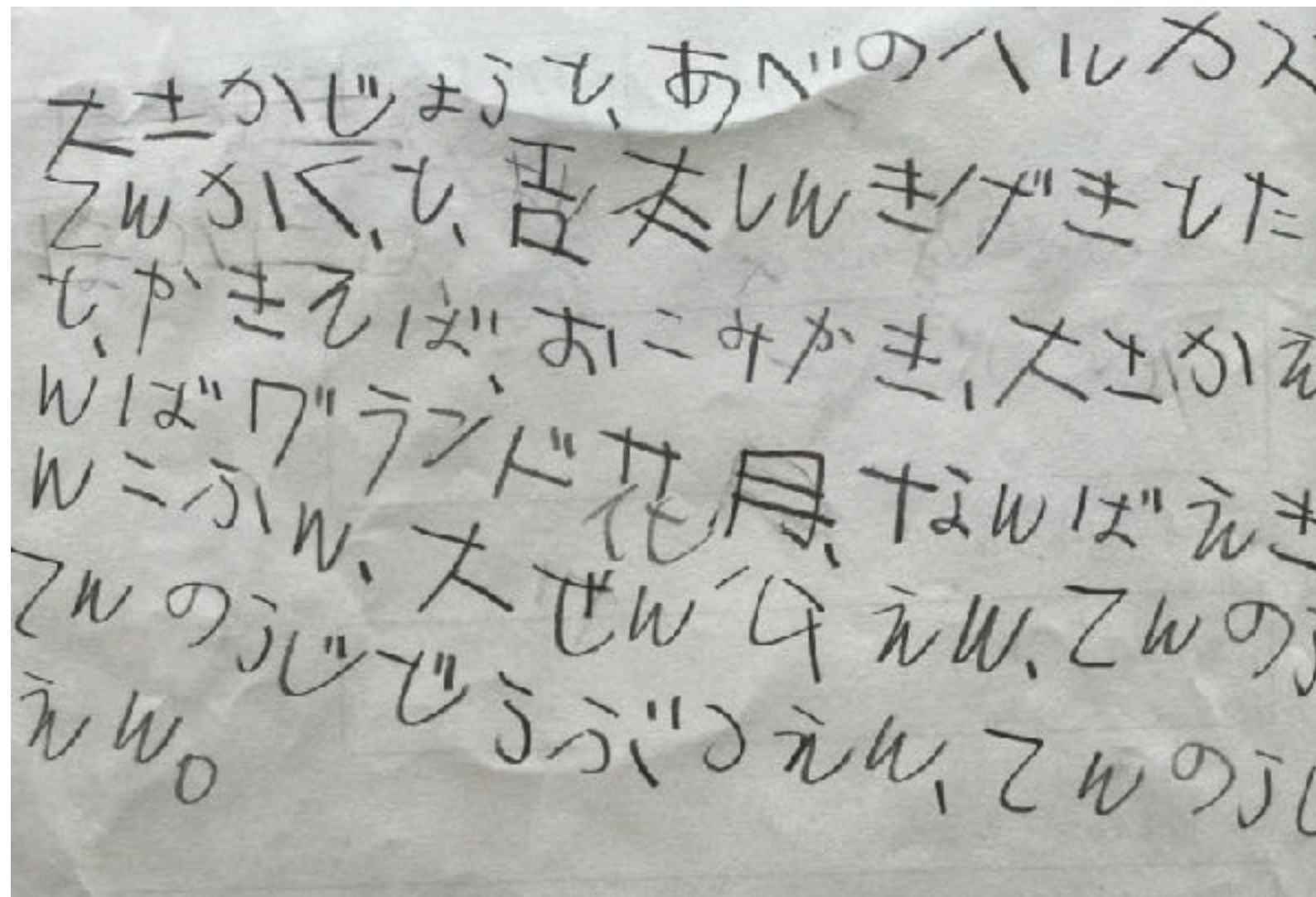
具体例

ノートに筆談でやり取り

授業ではタブレットも

可能性・選択肢を広げる

未来から逆算して



授業

* 2つの柱

教科の力

- ・ 各教科の学習内容
「国語」
「数学」
「社会」
「外国語」
「音楽」
など

← 教科を教える

教科で教える →

自立活動

- ・ 得意を活かし
苦手を補いよりよ
く生きる力
「指先の器用さ」
「コミュニケーション」
「精神的な安定」
など

授業でつけて欲しい力

教科の勉強＋自立活動

数学の授業

教科の勉強
「数の学習」

自立活動
「おはじきを
うつしかえる」

教科を教える

教科で教える

具体例

「10」の大きさ

教科の力

- ・ 10 という数の理解

自立活動

- ・ 指先の器用さ
(目でみて、ねらって指で
つまむ)
ビーズを卵パックにつまんで
うつす

* ビーズの大きさを変える
お箸でつまむ
目でみてわかる

授業でつけてほしい力

教科の勉強＋自立活動

外国語の授業

教科の学習
「アルファベット」

自立活動

- ・ 見る力
- ・ 目と手の協応
- ・ 動きをコントロール

教科を教える

教科で教える

具体例

「アルファベット」について知る

教科の力

- ・ アルファベットについて知る

自立活動

- ・ 見分ける
- ・ 見続ける
- ・ 目と手の協応
- ・ 動きのコントロール

＊素早く反応する

＊動きを止めて待つ

☆ただ待つのは辛いけど・・・



タイム

個別の指導計画

1年間（前期・後期）各教科で

何を

どう学ぶか

（そのために必要な支援は？）

教科で学習すべき内容：ねらい

自立活動的な課題：教材教具の工夫，活動内容の設定

支援の手立て：学ぶための支援

個別の指導計画

支援計画の内容 各教科の指導計画に 連携させる

学部		中学部		8		9	
講座名		国語		読込ボタン		保存ボタン	
グループ		4					
段階		小学部3段階				指導計画のみ	
担当者		樋井 一宏		参考(教育支援計画)			
学部	年	組	児童生徒名	年間目標	支援の手立て	シラバスのある教科 重点目標 ※プルダウン選択	
中学部	2	●		・困ったときに、動作や言葉で伝えられるようになる。 ・授業の準備や移動を自分から行えるようになる。	支援の手立て ・周りへの支援が必要な時には、どのような言い方をすればよいかを伝える。返答の場面では、選択肢を提示し自分で選ぶことから、少しずつ自分で考えた意見を伝えられるように移行する。促しの言葉かけを減らし、できるだけ見守りの中で、自分で考える時間を設ける。 ・時間割を元に活動内容を事前に予告し、見通しが持てるようにする。	ア 出来事など話の大体を聞き取っている。	
					配慮事項 ・向上肢・体幹機能障害のため、ウォー	イ 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えている。	
						ウ 絵本や易しい読み物などを読み、理解しようとしている。	
中学部	2	●		・日常の基本動作（手を洗う、歯をみがく、衣服を正しく着るなど）の重要性を理解し、正確に行う。	・ある程度は本人の自主性にまかせ、しっかり見守る。服装の乱れが顕著なときや、手洗いや歯磨きが必要なのにあきらかに失念しているときには適宜言葉かけをして、好ましい生活習慣の大切さがわかるようにする。	ア 出来事など話の大体を聞き取っている。	
						イ 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えている。	
						ウ 絵本や易しい読み物などを読み、理解しようとしている。	

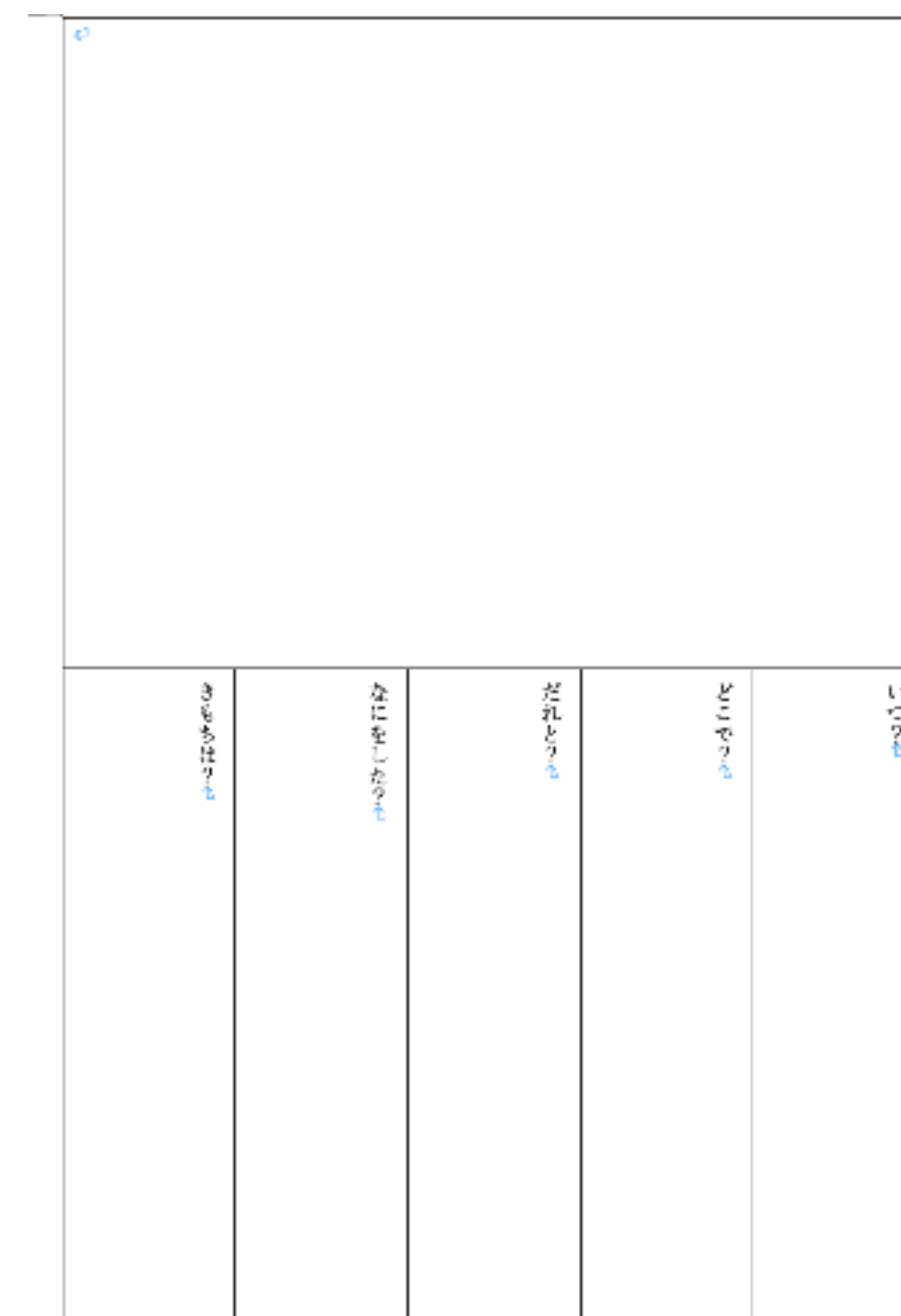
	児童生徒名	0	文責者	0
【 国語・社会・外国語 】				
前期目標				
体育大会の思い出を作文にすることができる 近畿地方の都道府県について知る				
後期目標				
	単元	支援の方法	現れ・評価・課題	
前期	行事の作文 近畿地方 物語を楽しむ	文章を書く際にはタブレット端末を使用し、書字の負担を軽減する 意見を述べる時には事前に予告して見通しが持てるようにする。 必要に応じて、教員が聞き取るなどする。		
後期				

				児童生徒名				〇				文責者				〇			
【 数学・理科 】																			
前期目標																			
2桁の四則計算ができる 角や辺など図形の基本的な特徴について知る 植物の成長について知る																			
後期目標																			
	単元				支援の方法				現れ・評価・課題										
前期	四則計算 三角形・四角形 植物の観察				タブレット端末等 を使用し、書字の 負担を軽減する 考えを発表する時には事前に予告して 見通しが持てるようにする。 ノートに書いて教員が代読する														
後期																			



具体例

作文が苦手なんです どうする？



実際には
何が苦手？

字を書くこと→タブレット

入力方法：ローマ字・かな・音声・フリック

たくさんの言葉を繋ぐこと→画像と組み合わせ

恥ずかしい→アバター

原稿用紙に
ヒントをつけたり
文字数を減らしたり、
絵で補助できるようにしたり

自分に合った方法を見つけて
選べるようになる

今日の予定

2、授業までの流れ

3、個別最適化（実践例）

4、まとめ # 特別支援教育が特別じゃなくなる日を

個別最適化

同じ目標、同じ学び方で良いの？

目的は「学ぶこと」

アクセスの方法はそれぞれ違って良い？

作文：経験を文章にまとめ伝える（目的）
紙と鉛筆、タブレット、録音、代筆（手段）
環境でなんとかなることは環境で

2枚のスライドを比べてね

障がい？

障害？

言葉狩りではなく、自分の意思表示

2枚のスライドを比べてね

障がい？

障害？

言葉狩りではなく、自分の意思表示

具体例

じっとするのが苦手

高いところにのぼりたい

実際には

椅子の代わりに

バランスボール

椅子の座面・背もたれに

空気を抜いたボール

→動きたいを保証

でも他の人を邪魔しない

実際には

のぼりたくなるもの

のぼったら困るもの

なくす、隠す

おかなくても

良いもおかない

置く場所の工夫

具体例

人の視線が苦手。

でも、みんなと同じ課題に取り組みたい。

どうする？

実際には

座席の工夫

カーテンで囲う

＊みんなと違うのは嫌

→座席を一番後ろの端に

【環境】を整えることも支援

→自分で伝えられるように

「個別の教育支援計画」に記載

次のステップでも継続できる

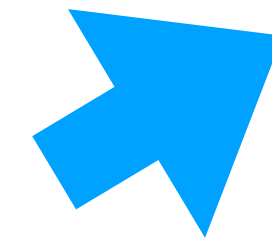
具体例

俳写を作る

- ・ アイデアは手書き
または

メモアプリ（50音、ローマ字、音声入力、手書き）

自分の得意（不得意）な方法を知る



- ・ 作品はiPadでKeynote



ICT機器の活用経験を積む

全ての活動に意味を持たせる



具体例

考えをまとめる

Canvaを活用して

- ・ 個人で作業
- ・ 他の人の意見を見られる
- ・ 参考にできる
- ・ コメントをつけられる

発言しなくても意見の表明

＊SNSの使い方



でも、1人でじっくり考えて
ほしい時は・・・

あえて、他の人の意見を見れない環境で

目的に応じた学習環境を

表示 54% 拡大/縮小 スライドを追加 再生 表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント 共有

1 2 3 4 5 6

べんきょう
勉強ってなんだ？

べんきょう
勉強のイメージ

写真やイラストを
入れよう

- ・学校・教科・好き嫌い分かれる・理系、文系
- ・楽しいときもたまにある・わかればおもしろい・基本的には好きではない

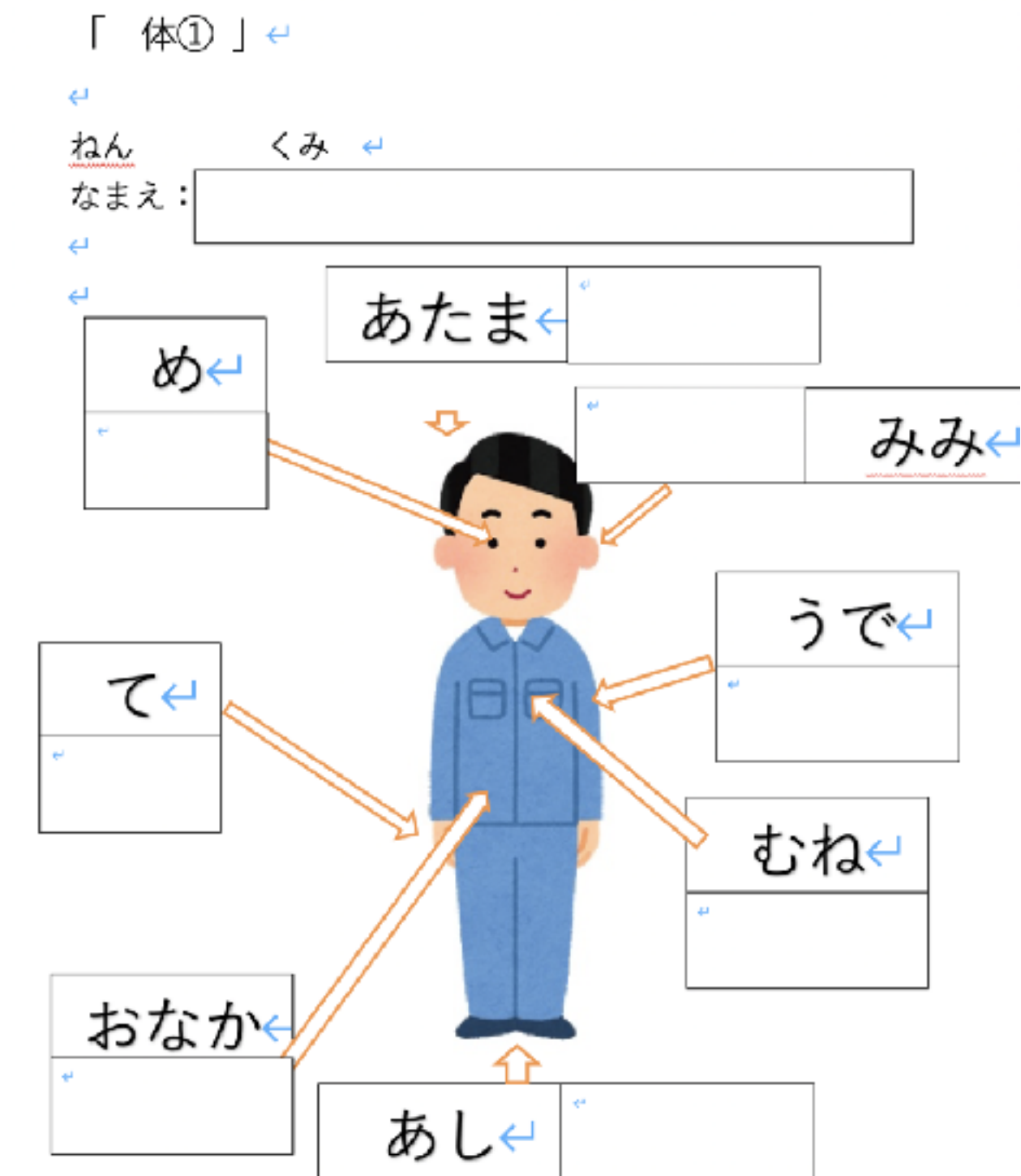
ひつよう
必要？

- ・生活するためには知識が必要。
- ・お金を稼ぐために必要。
- ・話したり、聞いたり、誰かとコミュニケーションをとるためには必要になってくると思う。相手の話すことや伝えたいことがわかるためには必要な・・・？

十人十色

同じ課題であっても
アクセスの方法は人それぞれ
スピードもそれぞれ

10人いれば
最大10通りのプリント



十人十色

同じ課題「喋ることが難しい」であっても

アクセスの方法は人それぞれ

筆談も

ICT機器も

ジェスチャーも

要因や本人の背景に合わせて「支援」を考える

例えば生成AI

同じツールを使っても
絵が得意（好き）、
苦手（嫌い）

使い方は人それぞれ

自分に合った方法で

名前： 日付：2月7日

AIについて考えよう

もう、人が絵を描くのはムダ？

私の意見
無駄ではない

理由
人がそれぞれ
→
個性的な絵を描くから

人が描く良いところ 模様を自分自身の想像 して描くことができる。 他の人のまねをしながら 描くことができる。 ゆっくり描く	AIが描く良いところ 早い 細かいところも描ける 描く色塗りも細かくで きる。
--	---

私の結論
人は個性的で楽しく絵を描くけど
AIは細かくて早くて負担が少なくて
AIに任せると
書き方のコツを教えてもらう
苦手な人は任せる

1

名前： 日付：

AIについて考えよう

もう、人が絵を描くのはムダ？

私の意見
無駄ではないけど必要ないかもしれない

理由
筆を動かして紙に人や物を生み出すのは人類が持つ力
の一つ、でもAIの方が命令さえすれば的確に人が描く
より早く描ける。でもそうしてどんどんAI任せにすれ
ばいずれ人類は墮落して滅びると思う

人が描く良いところ 感情がこもる	AIが描く良いところ 命令さえすれば的確に 早く美しい絵が描ける
---------------------	--

私の結論
AIに任せきりにしても楽しくない、やりがいを感じない
参考にするのは有りかも

2

名前： 日付：

AIについて考えよう

もう、人が絵を描くのはムダ？

私の意見
ムダじゃない

理由
書くのが好きだから

人が描く良いところ 楽しい	AIが描く良いところ 書くのが早い
------------------	----------------------

私の結論
ムダじゃない 絵を描くことが楽しい
から

3

社会の一員として



世界と無関係ではないという自覚
本物に触れたことがあるという経験
触れたからこそわかる

苦手なことを知る。
アクセスの方法を知る

- 自分で情報を得る習慣
きっかけが必要。
新聞？TV？インターネット？
SNS？
触れたことがあるって大切。
自分に合うものを自分で選ぶ

当たり前は変わる、当たり前を疑う

作文は紙と鉛筆で

学校には毎日行かなければならない

調べ物は辞書・本を読んで

手を挙げて・大きな声で

など

身の回りには「社会のデザイン」がたくさん

大切なこと

時代は変わる

✕僕らが（過去）学んできたように学ぶ



○僕らが（今）学ぶように学ぶ

今日の予定



3、個別最適化（実践例）

4、まとめ # 特別支援教育が特別じゃなくなる日を

予定がわかった方が集中しやすいよね？

それは、 支援学校だけ？

まとめ

特別支援教育：社会のデザインが原因で困っている人への橋渡し

こうしたら、少し楽になるかも。これなら、できるね。



困難さが減ったら、得意なことにもっと力を注げるね



それって、幸せじゃない？

困ってるのは、支援学校の生徒だけ??

特別支援教育が特別じゃなくなる日を



特別支援教育：最先端でかっこよくて めっちゃ楽しいで！！

ありがとうございました

まずは自分が触って、学んで
子どもたちと
一緒に面白がって・楽しもう



子どもたちの作品



遊びながら学ぶ



今興味があること

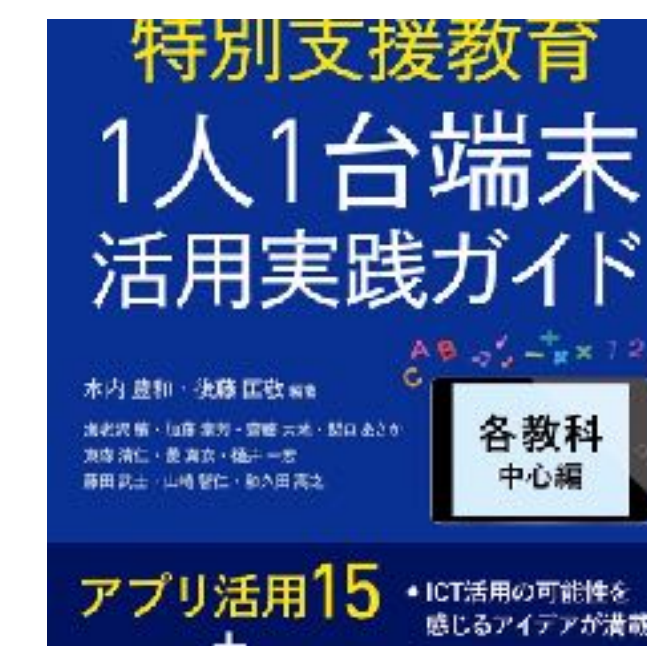
ICT機器で心身機能の拡張



生成AIをどう支援に活用するか

情報モラル教育

プログラミング的思考



ICT機器による情報の受信と発信・クリエイティブ

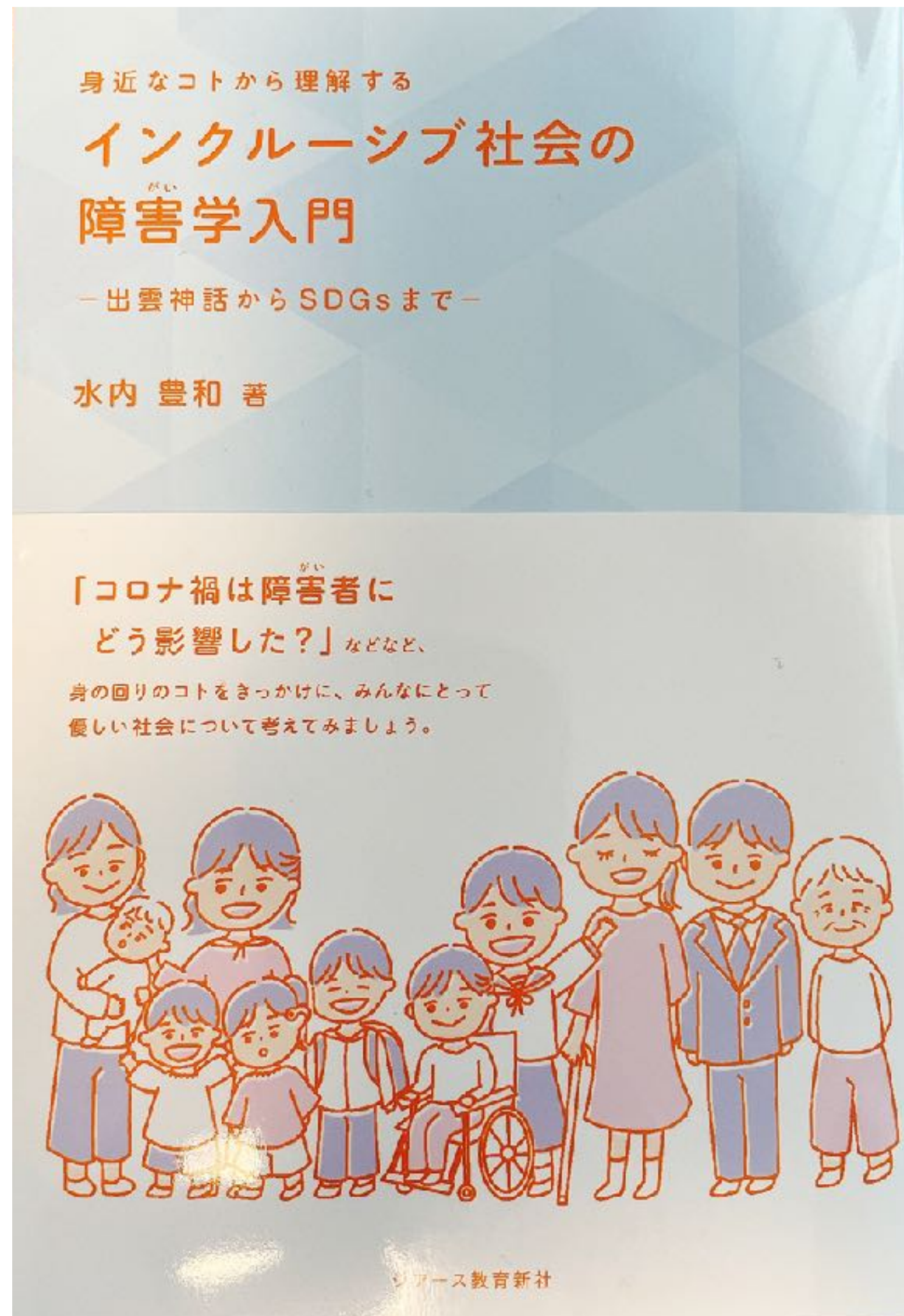
特別支援教育って特別じゃなくて

最先端でかっこいい

もっと 特別支援教育を知りたい人に

おまけ編

おすすめ 本



『身近なコトから理解する
インクルーシブ社会の障害学入門
―出雲神話からSDGsまで―』
(ジアース教育新社)



これから 特別支援教育について学ぶ人にぜひ読んでほしい1冊

「カラオケ×障害」や「カレー×障害」など身近なコトから
障害やインクルーシブ社会について楽しく知って、
前向きに考えることのできる本。

ホームページ・YouTube

HP『ダッシュニンの特別支援教材室』

特別支援教育に関する教材や、研修資料、
役立つアプリなどを紹介



YouTube ダッシュニン チャンネル

「朝の会」

「特別支援教育×○○」をテーマに
ラジオ形式で配信



よければ使ってね・・・#特別支援教育が特別じゃなくなる日を

ICT作品 コンテスト

<https://sites.google.com/view/sig-se-ictcontest/>

参加費
無料

JSET SIG-SE

第1回

ひとりひとりが輝ける新しいかたち

ICT作品コンテスト

作品募集中！ 9/30（月）まで

表彰式

12/14[±]

時間

13:00
-14:30

会場

Zoomによるハイブリッドで開催
株式会社内田洋行 新川本社
ユビキタス共創広場CANVAS東京
〒104-8282 東京都中央区新川2-4-7

実行委員長より

ワクワクをお待ちしています！

実行委員長の菱 真衣です。

特別支援教育※を受けている子どもたちやその支援者（先生・学生）のみなさんの、ワクワクする未来を期待できる作品や教材、授業のアイデアを募集しています！応募してくれた方全員に賞を送ります。

※特別支援学校、特別支援学級、通級指導など

3つの部門があります

特別支援教育を受けている

児童・生徒部門

①テーマ制作「未来へのメッセージ」
②自由作品制作

特別支援教育に関わる

先生部門

①授業実践
②ICT教材

特別支援教育を学んでいる

学生部門

①授業アイデア
②ICT教材

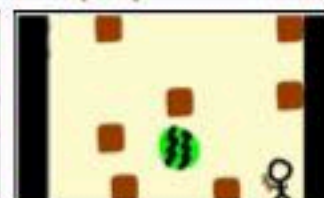
詳しい説明と応募はこちら

ICT作品コンテスト 募集サイト

写真、動画、作曲、ポスター、プログラミング、AI、AR・VR、視線入力など、児童生徒部門では、何かしらICTを用いたクリエイティブな作品であれば、どのような作品でも大歓迎！先生部門、学生部門は、教材や授業のアピールポイントを応募フォーマットに記載してください。全員が表彰されるほか、入賞した児童生徒には豪華副賞もあります。

詳しくは募集サイトをご覧ください。ジャンル紹介や応募手続きのほか、実行委員が作った作品のサンプルや保護者向け同意書などがあります。

<https://sites.google.com/view/sig-se-ictcontest/>



主催：日本教育工学会 JSET
SIG-SE（特別支援教育）

代 表：水内豊和（島根県立大学）
実行委員：菱真衣・樋井一宏・和久田高之

協賛：株式会社内田洋行



問い合わせ先

<https://forms.gle/Fi5GwE2849KFBPKj9>

ホームページの説明をお読みいただいた上で、お問い合わせください。

